

播但連絡道路の今後の管理運営のあり方等に関する有識者会議（第1回） 議事概要

1. 日 時 令和8年5月22日（金）14:00～15:40

2. 場 所 兵庫県公社館 1F 大会議室

3. 出席者 [委 員]（◎は会長）※敬称略、五十音順

阿部 尚之 姫路商工会議所産業政策部 部長

鷗森 丸美 朝来市商工会女性部 部員

織田澤 利守 神戸大学大学院工学研究科 教授

◎児山 真也 兵庫県立大学国際商経学部 教授

前川 修子 神河町商工会女性部 部長

[アドバイザー] ※敬称略、五十音順

奥山 健一 西日本高速道路株式会社 関西支社 総務企画部 企画調整課長

森口 正一 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 副所長（代理）

4. 議 事 ・播但連絡道路の現状と課題 ・今後の管理運営について

5. 議事概要〈委員等からの主な意見〉

（1）播但連絡道路の概要と現状

- ・有料道路制度による早期供用により、早くから沿線地域などにストック効果を発現している。
- ・産業や観光でも兵庫県の南北をつなぐ道として非常に重要な道と認識している。
- ・播但道は沿線北部から姫路圏への通勤を可能にしており、この道があることで地域人口が維持されている。
- ・播但道は、病院への搬送など人々の生活、生命財産を守るために必要な道路である。

（2）播但連絡道路の課題

- ・コロナ禍などでの交通量の減少は、我々が管理する道路でも同じような状況。
- ・交通量と料金収入は比例しており同じような傾向。
- ・自動車専用道路は一般道より高い水準で維持管理が必要であり費用も高くなる。
- ・労務費や物価の高騰により、播但道と同じような支出の増加が、我々が管理する道路でも起こっている。

（3）播但連絡道路の今後の管理運営

- ・有料道路の料金の考え方と、料金見直しの必要性は理解できた。
- ・有料道路制度自体が、受益者である利用者負担の原則によるものであるため、料金の見直しを図るのはやむを得ない。他の道路事業者も同じような状況に直面して、値上げの検討をしている社会的情勢がある。
- ・道路料金は、商圈、人材確保、ひいてはまちづくりにも通じる。道路管理・運営だけ議論するのではなく、まちづくりを推進するうえでの道路の位置付けで議論していくべき。
- ・生活する人や、働く人にとっては、値上げが利用控えの要因になる可能性もあるため、利用者数のシミュレーションをしていれば教えてほしい。
- ・人口減少や播但道の問題は、地域施策的な観点からの検討も必要と思うので、市町の行政としても取り組んでほしい。
- ・料金は、できればこのまま維持していただきたい。
- ・料金が上がると、どれぐらい交通量がかわるのかというデータがあれば、もう少し判断がしやすい。
- ・交通工学の「価格の弾力性」の観点では、道路料金を上げてても需要は同率には減らないというのが一般理解。インフレ下では利用者の「時間価値」も上がってくるため、得られる時間短縮便益も実感として大きくなる。
- ・過去に値下げをした料金を、ある程度元に戻すことで財源確保が可能になる。
- ・昨今の物価高騰により全国で再開発事業等がストップしている社会情勢を鑑みれば、安全維持のための一定の料金見直しはやむを得ない。

6. 今後の進め方 本日のご意見を踏まえ、引き続き第2回有識者会議で議論していく。

—以上—